

ガラス固化設備の安定運転条件の検討について

アクティブ試験 第4ステップでは、初めて高レベル廃液等を用いて、高レベル廃液ガラス固化設備のガラス浴融炉（A系列）における運転性能や処理能力等の確認を行った結果、所要の性能の確認はできたものの、白金族元素の影響を考慮し、管理された運転状態で維持されること」については確認出来なかつたことなどを「高レベル廃液ガラス固化設備第4ステップ試験状況報告」として2月4日に報告した。

当社報告に対し、原子力安全・保安院から、
 ①ガラス浴融炉の点検及び内部残留物に関する分析等が実施された上で、ガラス浴融炉運転性能試験等を再開するための運転方法について具体化を図ること。
 ②高レベル廃液ガラス固化設備に係る使用前検査（処理能力に関する性能検査）を実施する前に、再開後のガラス浴融炉の運転再開に向けて必要となる①に対する報告を行ってきている。（検討の流れは、右図参照）
 検討においては、アクティブ試験で得られたデータの評価・分析に加え、アクティブ試験を開始する前の先行施設から導入した技術の確認といったガラス固化設備の開発・試験等の経緯についても取り纏めできている。

また、検討に際しては以下に示す検討体制を整え、実施してきている。

<ガラス固化試験運営委員会>	
委員長：再処理事業部長	[分析評価] (IH)
委員： (原燃) 再処理工場長、再処理工場副工場長、運転部長、運転部課長、各課主査 (技術部長、再処理工場副部長、品質保証室部長、企画部長、報道部長、各課主査) (JAEA) (日本原子力研究開発機構：JAEA) (電力中央研究所)	(原燃) (IH)
再処理工場副工場長	

【溶融炉WG】 (原燃) (IH) (JAEA)	【電気設備検証WG】 (原燃) (IH)	【分析評価WG】 (原燃) (IH)
運転データの詳細評価による 原因究明及く対策検討	電気設備の貢献及び必要な 対策の実施	内燃物の試料分析方法の 検討&実施
【過去のトラブル事例と 解決策調査WG】 (原燃) (IH) (JAEA)	【設計レビューウG】 (原燃) (IH) (JAEA)	【過去のトラブル事例と 解決策調査WG】 (原燃) (IH) (JAEA)
過去における炉内残留物除去等の実施	過去における炉内残留物除去等の実施	過去における炉内残留物除去等の実施
炉内残留物除去方法の検討及 び実施		

